



兵協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

2018 **1**



11月25日(土)、兵庫県農業会館において兵庫県生協連・近畿労働金庫兵庫地区統括本部 主催「協同シンポジウム2017 inひょうご」を開催し、約200人が参加しました。浅田 克巳 氏の基調講演や高橋 均 氏の講演、鼎談を通して、社会的課題解決に必要な協同組合の活動や連携について学びました。(関連記事P.13)



兵庫県生活協同組合連合会
会長理事

木田 克也
(きだ・かつや)

スタートアップ

新年あけましておめでとつございます。会員のみなさまにおかれましては、よき新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

新しい年を迎えますと、これを機に新たなチャレンジを始めよう、と考えられる方は私も含めて多いのではないのでしょうか。その新しい取り組みをスタートする時に、なるほどと思える考え方があることを知りました。アメリカのシリコンバレーで新たな起業をスタートアップ（行動開始）させ、成功した事例に共通する大切な視点ということです。それは、①入り口で否定しない。②先入観を捨てる。③やってみてから判断する。④分析しすぎない。⑤完璧を求めない。の5つでした。確かに、人は新しい事を素直に受け入れる思考よりも、できない理由を並べる場合が多いですし、つい否定から入ったりお断りのバリエーションを張ってしまいがちです。しかも、その否定的になる理由はこれまでに自らが経験や体験をしてきたこと、そして既存の知識の範囲での価値観（先入観）によるものが多くあります。また、やる前から上手くいかどうかを心配して逡巡したり、本来の目的と離れて枝葉末節に細かな分析をしていたずらに時間を過ごしてしまうこともあります。さらに、やるから

には100%完璧にやり遂げようとして、硬直した考え方と方法論に捉われ余裕も楽しさも失ってしまいがちです。そうなる、もう半歩も前へ踏み出せませんよね。元々は、イノベーションと社会貢献を存在意義とする起業をスタートアップさせる時の視点ですから、既成概念や従来の価値観に捉われず、スピード上げて前へすすむためのコツともいえます。よく考えてみますと、もちろん個人にも通じる視点でもありますが、生協組織としても私たちがすすめる活動や事業でも大切にしたい考え方にもあてはまるものが多くありそうです。

一昨年、ユネスコが協同組合を無形文化遺産に登録した理由として、さまざまな社会的課題に対して創意工夫溢れる解決策を編み出している、という表現がありました。まさしく、過去のしがらみや旧来の価値観に捉われない、人と人がつながることで生み出す力をエネルギーにして、困りごとを解決していくことが求められています。助け合い支えあう地域づくりを会員生協のみなさんと一緒に目指したいと思えます。

さて、今年も新年を機に個人も組織も軽やかに明るくスタートアップしたいですね。

CONTENTS

- | | |
|---|--|
| 2. 想点 | 16. 兵庫 JCC「協同組合研究・交流会」報告／
兵庫 JCC「虹の仲間であそぶ」報告 |
| 3. 会員生協・今年の抱負 | 17. 第16回税務・経理講習会のご案内／
「ひょうご消費者ネットシンポジウム」のご案内／
「フェニックス共済」お知らせ |
| 13. 会員生協・今年の抱負／
「協同シンポジウム2017in ひょうご」報告 | 18. 協同組合のかけ橋 |
| 14. 第4回理事会 報告／
兵庫県生協連「共済生協部会・研修会」報告 | 19. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓 |
| 15. 第13回初級経理学校 開催 報告／
兵庫県生協連「保健・医療・福祉研究会」施設見学 報告 | 20. 「ひょうご消費者セミナー2017」のご案内／県連日誌／編集後記 |



2018年 今年の抱負



新年を迎え思うこと



生活協同組合コープこうべ
常勤理事

中川 寿子

あけましておめでとうございます。

昨年末のことになりますが、兵庫県立芸術文化センターで開催した「コープこうべ第九コンサート」についてご紹介させていただきます。今回は第25回目の記念公演として、神戸市民交響楽団とともに『歓喜の歌』のほか『アイーダ』の凱旋行進曲などを披露。渾身の演奏に、大きなパワーをいただきました。

CSRの一環として音楽活動のスポンサーとなる企業は多数ありますが、このコンサートは違います。「第九を歌いたい」と願う人が参加費を払って団員となり、指導者や指揮者、ソリストを招聘します。練習は団員の代表である実行委員が指導者と話し合いながら計画。チケットは有料で販売しており、団員は技能向上をめざして研鑽を積みまします。コープこうべは、組合員が自分一人では実現できない夢をかなえるための「場」を提供しているにすぎません。「コープさんのコンサートは協同組合そのものだ」と外部の音楽関係者から指摘され、ハッとしました。生活協同組合は、組合員一人ひとりが願いを実現するために活用できる「場」です。誰もがその人らしくイキイキと活躍できる「場」づくりに、英知を結集するときに思います。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

地域に必要とされる生活クラブを目指して



生活クラブ生活協同組合
都市生活
専務理事

角田 学

新年あけましておめでとうございます。

言葉の力を信じて、明るく、元気のである言葉で2018年をスタートしたいと思います。

2018年は、私たちにとって「第2次中期計画」と「福祉政策」実行の初年度となります。第2次中期では「地域に必要とされる役割を生活クラブ都市生活として果たしていく」ことを掲げました。生活クラブでは、F (Food)・E (Energy)・C (Care)の自給ネットワークづくりを目指しています。それぞれ、誰もが主体的にかかわり、自給循環していくことが重要な、地域になくてはならないものです。私たちの地域の中に、そうした機能を創り出していくことに取り組んでいきたいと考えています。Fの分野では、引き続き、食育・ピオサポ活動を、Eの分野では、原発に頼らない再生エネルギーを拡大する生活クラブでんきの取り組みとそれを象徴する住吉川小水力発電所の活動を、Cの分野では、福祉政策に則り、関連NPO法人との協働連携を高めて取り組む福祉事業、子育て支援の取り組み、さらに3つの共済による地域の中でのたすけあいの実践を掲げています。

これらの課題に組合員はもとより、地域を共有するおおぜいの人の参加を得て、生活協同組合の役割を果たしていきたいと思ひます。



生活協同組合コープ
自然派兵庫
専務理事

前田 陽一

2018年度コープ自然派兵庫の 取り組み

新年あけましておめでとうございます。

昨年は主要農作物種子法の廃止や、ゲノム編集（より簡単に遺伝子操作ができる技術）の食品への応用が進みました。さらに、EUなど各国で規制の進むネオニコチノイド系農薬が、日本では残留基準が大幅に緩和される等、食を取り巻く問題はより大きくなっています。特にネオニコチノイド系農薬は、ミツバチの大量死だけではなく人の神経系にも影響し、日本が農薬の使用量が諸外国に比べて格段に多く、発達障害も同様に突出している原因の一つではないかと考えられています。コープ自然派では、こうした問題について専門家を招いて学習会を重ね、組合員と問題の共有を深め、有機農業やネオニコチノイド系農薬排除に取り組む生産者を応援するため、カタログへのマーク表示を開始しました。

2017年は、本部・神戸センターの新築・移転の実施、2018年も2月に姫路センター移転の準備を進めるなど大きな投資が続いています。40年前、安全な食べ物運動を始めてから生協への組織変更、関西・四国で同じ活動をしていた生協との事業連帯をすすめる中で、組合員も増えていきました。しかし、次の世代に安全な食べ物を残す運動は、まだ道半ばです。組合員とともに、2018年も取り組みをしっかりと継続していきたいと思えます。



生活協同組合連合会
コープ自然派事業連合
理事長

神野 利夫

今こそ協同組合の真価を発揮するとき

あけましておめでとうございます。

コープ自然派は昨年、「食の安心安全」に関わる大きなテーマとして3つの課題に取り組みました。遺伝子組み換え食品、ネオニコチノイド系農薬、内部被ばく問題です。いずれも人体・環境・生物多様性への悪影響が強く懸念されるものですが、専門性が高いため一般消費者には正確な情報が届き難くなっているのが現状です。そしていずれの問題も、グローバル企業が深くかかわっています。

一方、時価総額世界TOP5に入るアマゾン・ドットコムが、「アマゾンフレッシュ」として食品の宅配事業を開始しました。自然・有機食品を扱う高級スーパー、ホールフーズを買収したことで、実店舗食の安心安全分野も視野に入れていることが窺えます。グローバル化の深化は、富の集中による問題を広げてきました。格差問題、貧困問題、環境問題、労働問題です。協同組合の始まりが、急激な資本主義の発達による弊害への危機感であったとすれば、今まさに協同組合の真価が問われていると思えます。ユネスコ無形文化遺産に登録された協同組合の思想を基に「様々な社会的な問題への創意工夫あふれる解決策」を編み出していくことが、世界的にも求められているのではないのでしょうか。

わたしたち生活協同組合は、連帯を進めることでその価値を高めることが可能であると確信しています。



西宮市職員生活協同組合
事務局長

山西 元

市役所生協としての取り組み

新年あけましておめでとうございます。

当生協は、兵庫県下唯一の市役所生協として、組合員である西宮市職員への福利厚生のため、サービスの提供に努めています。

日本経済は雇用や所得の改善が続き、緩やかな回復基調が続いているものの、可処分所得の伸びは抑制され、個人消費の拡大につながっておらず、当生協は供給高や手数料の減少等、厳しい運営を強いられています。

そのような状況ではありますが、市役所生協という特色を活かし、西宮市や職員互助会との連携を強化した事業を継続して進めてまいりました。市の観光キャラクター「みやたん」をプリントしたポロシャツやウィンドブレーカー等のみやたん関連商品の販売、市が職員を長期派遣している宮城県女川町で水揚げされた「生さんま」のあっせん、そして、毎年秋に開催している生協祭では、福引の景品に東北の名産品や、熊本のお菓子も活用しました。

今年も、組合員に多数利用してもらえよう、市の施策に関連する様々な事業に取り組みさせていただきます。西宮市の関係部局や互助会との連携をさらに深め、存在意義を高めていく努力を行ってまいりますので、ご指導とご支援を賜りますようお願いいたします。

感謝の気持ちを大切に



神戸大学生協同組合
専務理事

坂本 安弘

新年あけましておめでとうございます。

2017年は方針に掲げました「キャンパスパ
イラルの向上」と「見える化」に取り組んで参りま
した。

組合員を巻きこんでの活動や事業をどのように行
うべきか。また、キャンパス内での活動と事業をよ
り知って頂くにはどうすればよいか。試行錯誤の
2017年だったかなあと思いを馳せています。

ただ、実を結びつつある取り組みもあります。
60周年生協祭、英語のホームページ、各店舗のコ
ンセプト作り等々です。

2018年には、まだまだ小さい花ではあります
が、開花することができそうです。これもスタッフ
1人1人の創意工夫の賜物です。

将来は、大輪の花を咲かせることが出来ればと思
います。

神戸大学生協は、いま60歳以上のスタッフが全体
の約20%です。いきいきとお仕事しており、私も元
気を頂いております。感謝感謝です。

大学生協を取り囲む環境は年々厳しくなっていま
すが、スタッフ一同、「組合員により良いキャンパ
スライフを提供する」をモットーに、2018年も
頑張ります。

2018年も何卒、ご指導ご鞭撻のほど、よろし
くお願い致します。

新年の抱負



関西学院大学生協同組合
専務理事 /
大手前大学生協同組合
専務理事

高橋 秀行

新年明けましておめでとうございます。

今年に関西学院大学生協設立59周年、大手前大学
生協設立24周年になります。それぞれ大きな節目を
目前にし、これまでの歩みを振り返り、生協が大学
の中で果たすべき役割について、これまでに出来て
きたこと・これからするべきことを、改めて考える
年にしたいたいと思います。

そのためには、言葉にすると平凡ですが、「組合
員の意見を聞くこと」「大学の方針を理解すること」
が大事だと思います。学生の生活実態について、何
となく「わかったつもり」になつてはいないか。ダ
イナミックに動いている大学が進もうとしている道
を理解できているだろうか。そして、組合員や大学
の「願い」を実現するにはどうすれば良いだろうか。
課題多き一年です。ご指導ご鞭撻のほどよろしく
お願い申し上げます。

新年を迎えるにあたり



神戸市外国語大学
消費生活協同組合
専務理事

衛藤 昭二

新年明けましておめでとうございます。今年もど
うぞよろしくお願い申し上げます。

大学を取り巻く環境は目まぐるしく変化しており、
私どもの大学も例外ではありません。大学の教育が
大学中だけで完結しなくなり、課外活動や留学など
がますます増えており、この傾向は今後も続くと思
えられます。学内人口が減り続ける中、主に大学内
のみで活動を行う私ども大学生協にとっては今後も
厳しい状況が続くと予想されますが、昨年は「生協
に何ができるか」を考えさせられた1年でした。

その中で「いつも大学の中にある生協」を活かし
て活動することを心がけました。従来から行ってい
た業務だけでなく、大学の業務の一部を委託してい
ただくことにより、逆に大学の中にある生協しかで
きない取り組みを行いました。まだまだ発展途上で
はありますが、学生さんのいろいろな活動に携わる
ことができれば従来からの目標であった「学生生活
のトータルサポート」も達成できるのではないかと
思います。今年も新たな取り組みができればと思
います。皆様のご指導・ご支援をよろしくお願い申
上げます。



甲南大学生生活協同組合
専務理事

内田 真紀子

新年の抱負

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年は、2019年の甲南学園100周年事業に向けて、岡本キャンパスで大規模な施設の改修がありました。改めて学内の福利厚生施設は全て生協の運営に任せていただけたとともに、生協以外の資本金と協力しての新たな店舗運営、施設の運営に関わる新事業も始めており、まさに「挑戦」を実行する年でした。

組合員のニーズは日々変化し、毎日多くの情報が錯綜しています。この中で「生協が大学の中にあつてよかった」と喜んでいただけ、利用したいと選んでいただけの立場になるという事の本質は、組合員が本当に求めているものをしっかり捉えられているか、組合員が求めているものよりも自分たちの組織としての都合を優先してしまっていないか。常に問い続けることが必要です。

多くの店舗は新しく綺麗になりましたが、その環境に甘えることの無いように、今後も組合員に期待され続ける生協となるよう、スタッフと共にこれまで積み重ねてきた想いを持って生協活動、事業に励んで参ります。

今後とも指導、ご鞭撻のほど、どうかよろしくお願ひ申し上げます。



兵庫県立大学生生活協同組合
専務理事

藤井 貴浩

破天荒解

あけましておめでとうございます。本年も皆様にとって良き年となるよう祈念いたします。

昨年9月、兵庫県立大学生協は十周年を迎えることができました。(前身の姫路工業大学生協は1990年設立、神戸商科大学生協は1963年設立)

関係各位の多大なるご尽力に感謝申し上げます。誠ありがとうございます。

少し前の出来事になってしましますが、2016年11月、「協同組合において共通の利益を形にするという思想と実践」のユネスコ無形文化遺産への登録が決定しました。協同組合に関わる者としては、大変喜ばしいことです。

今春のタイトルは、今まで成し遂げることができなかったことを表すものです。世界で認めて頂いた協同組合の価値観を、自分なりにどう実践していこうかと思索し、決意したものです。

大学生協という職域生協でどのように協同組合を実践していくか。これは今に始まったことではなく、先輩方が縷々問い続けてきた命題です。大学生協が誕生してから、大学生の価値観は大きく変わってきましたし、今もなお変わろうとしています。

その中で、事業的にも存続しながら、少しでも学生組合員に響くような協同組合の価値を発信できるのか、真価が問われるところでです。

より一層精進し、破天荒解、ブレイクスルーしたいと決意するところです。

今後とも、皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



神戸親和女子大学
生活協同組合
専務理事

坂本 安弘

小さな巨人を目指して

謹賀新年

あけましておめでとうございます。

組合員の皆様に支えられ、2017年は生協設立20周年を無事迎えることができました。

2017年は本格的に収支構造の再構築を進めました。営業時間の見直し、サービスの休止等々、組合員と大学の理解を得ながら進めており、効果が出ています。年度末には完了すると思われ、まだ、20周年感謝企画等を行うことは出来ませんでした。新春早々には計画したいと考えています。

大きなことを行うことはできませんが、「小さいからこそ出来ること」「小さいゆえのメリット」をしっかりと認識し、組合員のために一歩ずつ着実に歩んで行きたいと思えます。

小さい生協だからこそその、組合員と距離が近いことを最大の武器にしたいです。

25年・30年・35年とこれからも組合員、そして大学と共に歩める生協を目指します。

今後ともよろしくお願ひします。

新年の抱負



園田学園女子大学
生活協同組合
専務理事

大須賀 修

新年あけましておめでとうございます。
昨年の課題としていた、20年を超える「厨房施設・備品」の更新について学園法人に提案することができ、現在その内容についてご検討いただいています。早ければ2018年内には何らかの更新をしています。ただけるのではないかと期待しています。
その他にも様々な提案をさせていただいており、それらが実現すれば組合員・学園法人に今まで以上に生協の良さ・利点をより明確に確認していただけるようになるかと考えております。
また、現在あまり高くない学園教職員やシニア学生を含む各階層への生協加入案内を行う場面を増やし、加入率向上を目指したいと考えています。
加入していただくからには「園田学園女子大学生協」の組合員となつてよかつたと思つていただける生協を創つてゆき、学園法人からの信頼も高めてゆけるよう引き続き努力したいと思つています。
本年も引き続き、園田学園女子大学生生活協同組合へのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

2018年の抱負



甲南女子大学生協
専務理事

塩田 恵美

あけましておめでとうございます。旧年中は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございました。
甲南女子大学では、今年、新学部が開設します。新しい校舎、新しい学部ができることで、学生がより元気に、活発になることを期待するとともに、学内の福利厚生も新たな局面を迎えることとなり、大学生協としてより一層精進しなければならぬと身の引き締まる思いです。新しいことが始まるにあたり、改めて「組合員の参加と協同」という大学生協の価値と強みを組合員に伝え、ともに取り組んでいける関係づくりを目指します。とくに、学生の食生活という視点においては、社会人になる前の食育のタイミングとして、バランスよくきちんと食事をとつて健康な生活を送るための基盤づくりを目指します。
2020年の学園の100周年も目前に迫り、大学はこれからも新しいことに向かつていきます。その中で、大学生協のあり方について繰り返し考え、大学とともに一歩を踏み出していけるよう、しっかりとスタッフと準備をまいります。
本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

新年を迎えるにあたって



神戸市立工業高等専門学校
生活協同組合
専務理事

中川 一穂

明けましておめでとうございます。
旧年は大変お世話になりました。本年も何卒、宜しくお願ひ申し上げます。
昨年は皆さまのご支援もあり、おかげさまで設立から10年を迎えることができました。
この間、組合員の学校生活をより充実したものにするため、様々な事業にチャレンジして参りました。その成果が実を結び始め、ここ数年は安定した運営を行うことができいております。ただ日頃より方針として掲げている「学校組織の一員としての生協のあり方」については引き続きの課題として、組合員の福利厚生に留まらず、多角的な支援を行えるよう取り組みを進めて行かなければならないと考えています。
設立から10年の節目を迎え、20年後、30年後を見据えた運営を行っていくため、理事会、生協職員、学生委員会が一丸となり、組合員や学校との関わり方を今一度考えていきたいと思つています。また、多様なニーズにお応えすることが出来る体制づくりを進めて参ります。
今後とも、ご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。



神戸薬科大学生活協同組合
専務理事

内田 真紀子

新年の抱負

新年明けましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

神戸薬科大学生協では、今年で設立25周年を迎えます。設立から現在まで、学部生が4年制から6年制へ変わり、組合員数が大幅に増加したことに伴い、大学の協力の元、店舗の新設、移転も行って参りました。

事業範囲も拡大し、多くのご利用をいただけたところまで伸長をして参りました。

昨年は、食堂の利用環境改善、購買部店舗では、組合員の利用に合わせた商品の見直しなど様々な事に取り組んで参りました。

この中で、教職員理事だけでなく、学生理事が積極的に議論に参加し、生協職員の研修にも同行し、同じ薬学部との議論を交わしました。この事を踏まえて、薬科大学生協の「次の一歩」の提案を理事会の中で学生自らが具体的な提案をしてくれました。今年度は昨年の理事会での多くの意見を活かして、学生から発信された神戸薬科大生協の次の一歩の提案が実現できるよう、大学との協力関係をより強化し、生協職員、スタッフ一同で励んで参ります。

今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



生活協同組合連合会
大学生協同組合
関西北陸事業連合
専務理事

末松 泰信

新年の抱負

新年明けましておめでとうございます。

阪神・京都・北陸の3つの事業連合が合併し、広域で48の会員生協からなる「関西北陸事業連合」が発足してから1年半が経過しました。この間の大学の環境変化や経済情勢の変動が著しく、特に少子化・18歳人口減少への対応の一つとして、大学が将来のビジョンをもって、新しい施設や学生サービスの提供を急速に具体化するときに、福利厚生事業の担い手である大学生協が、大学から数多い事業者のひとつと見られるか、大学と共に運営者側の立場となるのか、大きな岐路に立たされているのではないかと考えています。県下11の会員生協でも迅速かつ柔軟に対応されていて、それを支える事業連合となるために今以上の機能強化をはかるよう努めているところです。

多くの情報を持ち得て会員生協への支援ができることが広域の利点ではありますが、地域での様々な生協組織とのネットワークを活かし、地域に根差した活動があつてこそ、組合員の意志を反映した力強い組織運営が実現できます。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻頂きますよう、本年もどうぞよろしくお願ひ致します。



神戸医療生活協同組合
理事長

道上 哲也

「三つの輪」の理念を大切に、医療と介護、組合員活動の総合力を発揮する年に

新年明けましておめでとうございます。

今年度は、診療報酬と介護報酬の同時改定がおこなわれます。給付削減と負担増がすすめられるも、医療・介護事業の経営環境はさらに厳しくなるものと予想されます。「三つの輪」の理念を大切に、医療と介護、組合員活動の総合力を発揮し、これまでの助け合いのとりくみの教訓を活かしながら、「無差別・平等」の医療・介護をすすめていきたいと考えています。本年も何卒、よろしく申し上げます。

昨年は、憲法施行七〇年目の年でした。この間、日本が一度も戦争をすることがなかったのは、戦争放棄・戦力不保持・交戦権否認を掲げた憲法九条があったからです。「軍勢力にたよる平和」ではなく、「武力にたよらない平和」をわたしたちは強く願っています。また、昨年七月、人類史上初めて核兵器を違法とする核兵器禁止条約が国連で採択されました。残念なことに、日本の政府は参加していませんが、わたしたちが続けてきた、核兵器廃絶のとりくみを、更に強めていきたいと思ひます。

本年が組合員をはじめ、皆様にとって充実し、吉事が重なるよい年であるよう祈願し、新年のご挨拶とします。

今年もよろしくお願ひ致します。



尼崎医療生活協同組合
専務理事

福島 哲

「常識のウソ」を見抜き、 社会保障充実への政策転換を

「我が国の財政支出は先進諸国と比べて医療・年金を中心に高齢者に偏っている。結果として子育てや教育支援といった勤労世代への支出が割を食っている」。新聞でもテレビでもよく見聞きする論調で、世間一般でも普通に通用しているのではないでしょうか。

それでは日本の高齢者が、際立って贅沢な社会保障サービスを受けているかと言えそうですがありません。世界一の超高齢社会にもかかわらず、この国の高齢者に対するGDP比の社会保障給付費の比率は6番目に過ぎません。要はこの国の社会保障給付費の総量が小さいために、高齢者の給付が高く見えるに過ぎないのです。社会保障を巡って多く見られるこの種の「常識のウソ」を見抜くことが必要です。

日本人は全体として、目に見えて貧しくなっています。年収200万円以下の世帯が全体の2割に達し、非正規労働者の割合も4割を超えました。しかし一方でモノが行き渡ったこの国では、かつてのような経済成長の再現は望めません。社会保障の充実で所得の再分配を強める以外に問題解決の方法はありません。

応能負担と平等給付原則による社会保障充実への政策転換に向けて、今年も積極的に情報発信をしていきたいと思えます。



阪神医療生活協同組合
専務理事

蓮見 克也

新しい年を迎えて

新年明けましておめでとございます。

阪神医療生活協同組合は現在、改めて地域の支え合い活動を重点課題として取り組んでいます。地域には様々な人が住んでいます。その様々な人たちと、様々な法人とつながりながら、地域力を育み、支援していけるような体制づくりに励んでいます。次年度はむげんだい会議から出た意見を元に、有償・無償のボランティアの仕組みを推進することが決まりました。助け合い、支え合い、お互いさまと言葉は違えど、集まる人たちの想いは一緒だと思います。

生活協同組合の最大の特徴である、協同による取り組みで、地域づくりを今年も進めて参ります。

また他生協の方々から学ばせて頂く年にもしたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



宝塚医療生活協同組合
理事長

脇野 耕一

医療生協らしい「まちづくり」

あけましておめでとございます。

昨年11月5日、宝塚市役所横武庫川河川敷で、健康まつりを開催し、好天に恵まれ3000人以上の参加者で大成功でした。「お互いさま」があふれるまち・宝塚（エイジフレンドリー宝塚）と協働する取組でした。来賓の中川智子宝塚市長が「エイジフレンドリーシティの取組を皆さんとともに笑顔で進めて行きたい」と挨拶、武田節を吟じました。ステージでは、楽しい企画が目白押し。最後はフォークダンスで締めくくりました。地元のエフエム宝塚やJ・COMも報道してくれました。空クジ無しの抽選会で1等や2等が出ると、鐘と歓声が沸き起りました。コープこうべさんやJA兵庫さんとの協同組合間協同が実現し、野菜やパンの販売コーナーが設けられ、「コーピー」着ぐるみが子どもたちに大人気でした。

2005年のWHOバンコク憲章は、ヘルスプロモーションの定義を「①人々が、自らの健康とその健康決定要因をコントロールし改善することができるようになるプロセス②またそれにより健康を向上させる」こととしています。

今年も、協同の輪をさらに広げて、事業と生協運動を拡大し、宝塚最大の末広中央公園で健康まつりを開催できたらいいなと思っています。



姫路医療生活協同組合
専務理事

黒岩 勝博

「地域共生社会づくり」への挑戦

新年明けましておめでとうございます。

姫路医療生活協は、2010年度の通常総代会から「地域包括ケアの推進」を一貫して掲げ、事業と活動を広げてきました。昨年は、通常総代会で新たに「地域共生社会づくり」方針を打ち出しました。当生協として、行政や他団体との顔の見える関係づくりを大切にしながら、地域共生社会へすべての地域住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく暮らすことができるまちづくりにとりくんでいます。

昨年の事業展開は、3月に福祉介護センター香寺（居宅介護支援事業所、訪問看護、訪問介護併設）、4月に定期巡回・随時対応サービスあほし、6月に小規模多機能ホーム香寺を開設しました。

今年、4月に小規模多機能ホーム野里（法人内の小規模多機能9か所目）と定期巡回・随時対応サービス北部（法人内の定期巡回サービス4か所目）を開設予定です。在宅サービスの限界点を高め、さらなる地域貢献をはかります。

健康づくり、助け合い活動では、「楽しく、おいしく、オシャレ」な組合員活動を広げ、地域により開かれた運営をおこないます。公民館等の公共施設の活用を重視し、地域住民誰もが参加できる多彩なイベントを開催し、多世代交流による地域での支え合い活動を広げたいと思います。

今年もよろしく願っています。



ろっこう医療生活協同組合
専務理事

森本 浩

「すこしお生活」と「フレイル予防」で地域まるごと健康づくり

新年明けましておめでとうございます。

私共は昨年の総代会から、「すこしお生活」と「フレイル予防」の実践と普及に取り組んでいます。今年、一日塩分摂取量6g未満を目標に、医療福祉生協連が提唱する「すこしの塩分ですこやかな生活をめざす」とりくみを、さらに広げていきたいと考えています。

「フレイル予防」については、栄養（食・口腔機能・運動・社会参加を重点テーマ）に取り組みを進めていきます。そのためにも、日常生活圏内に、組合員の居場所を増やしていくことを、昨年に引き続き追求していきます。

さて、2018年は、診療報酬・介護報酬同時改定の年です。人生100年時代を見据えた社会の実現、地域包括ケアシステムの構築、制度の安定性・持続可能性の確保、医療・介護現場の新たな働き方の推進などを、厚労省は基本方針としています。医療生協の経営にとっては、大変厳しい内容が想定されますが、積極的に対応していきたいと考えています。

また、引き続き、東日本大震災をはじめとした被災地の皆さまに寄り添う活動にも取り組んでいきたいと考えています。



たじま医療生活協同組合
専務理事

和田 茂孔

新年を迎えて

新年明けましておめでとうございます。

たじま医療生活協では、昨年は、介護事業所の経営改善とろっぽう診療所の後継所長体制を確立することが課題でした。現在経営改善のための努力の結果、一定の経営改善をすることができました。また、新しい所長体制のもとで診療活動を継続することができることになりました。

一方、一昨年からスタートした暮らしの助け合い「なんなつ」は、地域のくらし困りごとを解決し、支えあい活動を通じて安心して暮らせるまちづくりをめざして活動を続け、今では地域になくはならない存在となっています。「なんなつ」があるから安心して在宅生活ができるという声が聞かれます。

医療と介護の同時改定の今年、ますます公的制度を減らし自助・互助を求めてきています。しかし、このような時こそ、住み慣れたこの地域で安心して住み続けられるまちづくりをすすめる、地域の組合員とともに、医療生協らしい地域包括ケアを進めていく必要があります。

本年は大きな節目の年となりますが、また、新しい転換の年として、組合員や地域住民が待ち望んでいる新施設建設へとつながる年としていきたいと思っています。



ひまわり医療生活協同組合
副理事長

三橋 徹

平和や幸せを生む力は兵器にはない、それは小さくされた人がもっている

新年を迎えて、各生協の活動にあらためて敬意を表します。

昨今政府与党は、軍備増強にかしを切り、核兵器廃絶に賛成せず、9条改憲を目論んでいます。

もし、平和や幸せを生む力が兵器にあるのなら、核兵器を保有する国、軍備増強をする国、銃社会の国はより平和で幸せなはずで、抑止力で人が人を傷つけること、テロもより少ないはずで、現実はどうでしょう。

軍備増強は戦争をより日常化します。

日本の平和は、核の傘下のおかげではありません。各生協が担ってきたような人を大切に活動、家庭で、地域で、あるいは国をこえて助け合った活動の積みかさねではないですか。そして、まだまだ課題があります。

平和や幸せを生む力は、世界中のつらい思いをしている小さくされた人がもっています。小さくされた人を尊重し大切にすることで発揮されます。

本当にそう思います。あやまちのない人はいないけれど、それをふまえて信頼して歩みだそう。そんな思いが、日本国憲法9条にも流れています。

今年も勝負の年、ともに頑張りましょう。



神戸市民生活協同組合
専務理事

岡田 勇

東京オリンピックへの期待

新年、あけましておめでとうございます。

2018年がスタートをした。今年は明るい話題が多い年になってもらいたい。

昨今、日本での明るい話題の一つとして「2020年東京オリンピック」があげられる。まだ、2年先ではあるが、大きな期待をしたい。

前回の日本でのオリンピック夏季大会は、1964年。当時、私は小学校3年生であったが、大会の様子は鮮明な記憶として残っている。神戸市内を通る聖火リレーを見に行った。オリンピックが始まると小学校の先生の指導もあり、テレビを見ながら新聞の切り抜きなどをして、壁新聞を作っていた。日本人選手の活躍を中心に、三宅義信選手が優勝した重量挙げ、男子団体優勝を果たした体操、日本のお家芸の柔道、東洋の魔女と言われた女子バレーボール、裸足の勇者アベベが優勝し田谷幸吉が3位に入ったマラソンなど、一喜一憂していた。

当時の日本は、戦争から20年近くたったものの、まだまだ貧しかった。このオリンピックを契機に、東海道新幹線が開通するなど国内のインフラが充実した。それだけでなく、日本国民の心を明るくした一つの契機といえる。

我々は、引き続き各生協の皆さまと対話を続けながら組合員の皆さまの生活向上につなげていかなければいけない。その契機に2020年のオリンピックがなればと思う。



尼崎市民共済生活協同組合
理事長

本田 良生

組合員の負託に応える

新年明けましておめでとうございます。

当組合に就任して、早や3年となりました。この間を振り返りますと、共済契約は、通減し当組合を取巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。その中で成果的な事案としては、組合員の皆様に割戻す、利用分量割戻金について、率にして火災共済掛金の40%強の大体に3年連続乗せることができました。この割戻金は、決算の状況により毎年変動しますが、今後とも良好な事業運営の努力により40%台の割戻しを維持したいと思っております。

一方、国の月例経済報告により、景気は緩やかな回復基調が続いており、個人消費も緩やかに持ち直しております。雇用情勢も改善しております。こうした景気回復の期待を踏まえ、当組合事業の利用者の新規加入に向けて戦略的に取組むとともに、安全・安心な暮らしを支え、組合員の負託に応えて参りたいと考えております。

今後も引き続き共助、協同の輪を更に広げ、その役割を十分に果たせるよう取組んでまいります。

本年も地域並びに組合員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

新たな年を迎えて



姫路市共済生活協同組合
理事長

岡村 卓治

新年明けましておめでとうございます。
新たな年を穏やかに迎えに出来ましたことあらためましてお喜び申し上げます。
さて、近年の科学技術の進展の速度には、非常に驚かされております。

携帯電話の普及に伴い、公衆電話ボックスが激減したと思えば、その携帯電話がスマートフォンに変わり、パソコンのように使用されるなど、「十年一昔」という言葉は死語になりつつあり、5年?ともすれば2〜3年で社会の風景や状況が一変してしまっているのは、私だけではないと思います。

私事ですが、昨年11月に愛車を更新いたしました。年齢を考慮し、アクセルとブレーキを踏み間違えても大丈夫なように「オートストップ機能」など運転支援システムが搭載されているものを購入いたしました。が、そう遠くない将来において、自動運転する車やロボットタクシーが実現することを予感させられています。

しかしながら、IT技術が進展し、人工知能「AI」などがいかに発達したとしても、人の温もりや安心の価値観は不変であり、逆に必要とされるものであると考えております。

私どもの姫路市民共済は、人と人との繋がりを大切に、「安全」と「安心」を組合員の方々にお届けする活動に重点を置き、特に「安心」をお届けするには、顔の見える関係を構築することであると考え、日々事業展開をしてまいります。

今後におきましても、常に組合員の皆様と向き合い、顔と顔の見える関係や助け合いの精神を大切に、事業を推進してまいりますので、本年もご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

賀寿



西宮市民共済生活協同組合
常務理事

岸本 正

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

先日、古稀を祝う高校の同窓会が行われました。ご出席戴いた「漢文」の恩師から古稀とは唐の詩人、杜甫の詩に「酒債は尋常行く処に有り人生七十古来稀なり」(酒代のつけは私が普通行く所には何処にもある。しかし七十年生きる人は古くから稀である)に由来するとの祝辞を受けました。

「岸本くん。まだ私は68歳なんよ」と不満げな昔美人もいましたが、我が国では古来より人生の節目を迎える際には「賀寿(がじゅ)」として長寿を祝う昔ながらの風習から日本古来の数え年でお祝いするのが一般的だそうです。しかし1200年前は古来稀でしたが団塊世代には、なかなか長寿の実感がありませんが節目を祝うという風習は大切にしたいと思えます。

西宮市民共済はもう暫くで「還暦」を迎えます。節目を迎え更に組合員の皆様と心を通わせて顔に見えるおつきあいをしていく事を念頭にあたり心新たに誓うものです。

私自身も古稀を機に、これからは自分に楽しい事、仲間との楽しい時間を増やしていきたいと思っております。勿論、我が家の猫たちからも可愛がつて貰うよう媚を売ります。

本年もご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

「真価を創造する年」に



兵庫労働共済生活協同組合
専務理事

西谷 圭一

新年明けましておめでとうございます。皆さま方におかれましては、ご家族共々新たな年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

ご承知の通り、この一年余りの間で発生した大寒波や相次いだ大型台風により被災された組合員への迅速な被害調査と共済金の支払いなどに、組織を挙げて対応してまいりました。兵庫の地においても昨年10月に発生した台風21号の影響により1700名を超える組合員の被災がありました。

全国からの動員による迅速な共済金のお支払いと被災者支援の活動に取り組んでまいりました。

さて、全労済として2017年は中期経営政策の最終年度であります。最重要課題とし掲げた2つのうち「事業基盤の確立」が達成できました。一方「事業の回復」についても昨年9月に「推進本部」制を含めた新たな組織の機能を発揮することにより達成できると確信しております。

みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」という理念を実践し、文字通り「真価を創造する年」とすべく運動と事業の強化を図る所存です。

本年も引き続きご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



近畿労働金庫
兵庫地区統括本部
本部長

本多 義弘

よろこばれ選択される金融機関を目指して

明けましておめでとうございます。皆さま方には
健康やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新年を迎えるにあたり、昨年の大きな出来事として記憶に新しいのは、兵協連・近畿ろうきん共催の「協同シンポジウム in ひょうご」(11月)です。兵協連、加盟単協、兵庫労福協、労金が力をあわせ約200名もの皆様にご参加いただくことができました。講演・鼎談とおして、地域・職域での具体的な協同の実践が、どのように人の心を動かし、組織の活動を動かし、社会を変えていくのか、大きな気づきの機会となったものと思います。

2018年度(本年4月より)は、当庫が3年毎に策定する中期経営計画の、第7次(2018～2020年度)スタート地点にあたります。この3年間の経営ビジョンとして

● 会員・はたらく人・地域社会によるこばれ、選
択される金融機関になります

● 共助の精神を発揮した事業運営を行います
の2点を掲げ、その実現に向けた施策を実行していきます。当庫の近畿統合20周年を迎える年度でもあり、各生協・会員組合の皆さんとともに、30周年、さらにその先まで持続的に成長し、使命を発揮し続けるために、強固な経営基盤の構築に努めてまいります。引き続き当庫事業にご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

兵庫県生協連・近畿労働金庫 共催

「協同シンポジウム2017 in ひょうご」を開催

11月25日(土)、兵庫県農業会館において、兵庫県生協連・近畿労働金庫地区統括本部 主催「協同シンポジウム2017 in ひょうご」を開催し、生協・近畿労働金庫の役員と職員や組合員、NPO等市民団体など約200人が参加しました。「協同シンポジウム」は、近畿労働金庫と近畿府県連との共催で毎年開催され、5回目となる今回は兵庫で行われました。「多様な助け合いの力が社会を変える」をテーマに生協・労福協の歴史を振り返りこれからの共生社会づくりに向けて地域での連携についての講演がありました。浅田顧問は「私達の事業

や運動の中に様々な助け合いや連携のエピソードがある。エピソードを共有することで次の社会での役割を考えるアイデアが生まれる」と話され、高橋アドバイザーからは「運動と事業の両立は難しいが協同組合の宿命。協同組合の原点を繰り返し学習することが大切」と話されました。参加者からは、「社会情勢から協同組合が果たすべき役割はまだたくさんあることを再認識できました」「理屈では人は変えられない。感動が人を変える。これから何をすべきか考えるきっかけができました」などの感想が寄せられました。



基調講演
日本生活協同組合連合会
顧問 浅田 克己氏



講演
労働者福祉中央協議会
アドバイザー 高橋 均氏



鼎談

2017年度 兵庫県生協連 第4回理事会報告

【開催日時】 2017年12月4日(月) 午後2時～3時30分

【開催会場】 兵庫県民会館 12階「1201」

【出席者】 木田会長理事、高橋副会長理事、田中専務理事、新保、岡本
大沼、藤井、松永、福島、西谷（以上、理事）、金丸、中川、岡村（以上、監事）

● 協議事項 ●

(1) 「ひょうごまるごと健康チャレンジ2018」の参加生協拡充について

● 報告事項 ●

- (1) 分野別生協（出席理事、監事）からの状況報告について
- (2) 2017年度上期監事監査実施報告
- (3) 2018年「新春トップセミナー・賀詞交換会」詳細について
- (4) 前回理事会～12月初旬までの兵庫県生協連行事、活動報告について
- (5) 2017年～2018年10月までの「主要行事スケジュール」について
- (6) その他

兵庫県生協連「共済生協部会・研修会」を開催

11月15日(水)、兵庫県民会館において「高齢者の契約と消費者被害」をテーマに「共済生協部会・研修会」を開催し、共済生協の役員と職員、事務局あわせて6生協16人が参加しました。押田・森岡法律事務所 弁護士 押田 晃氏を講師に迎え、ご講演いただきました。研修会では、各生協で主に高齢者の契約で問題となっている事例について考え方や対応についてお話いただき、参加者からは「共済に沿った内容で良く理解できました」「特に適合性原則は契約時に大きく関連してくる点でもあり興味深く学ぶことができました」「現在起こっている契約トラブル事案について良く理解することができました」などの感想が寄せられました。



弁護士 押田 晃氏



経理を基礎から学び全員が課程を修了 ～「第13回初級経理学校」を開催～

経理担当者人材育成をめざし、生協の経理実務を基礎から学ぶ兵庫県生協連主催の経理学校は、今年13回目を迎えました。MMコンサルティング 三宅 充氏、税理士 江藤 俊哉氏を講師に11月16日(木)～17日(金)、20日(月)～22日(水)5日間の講義に、会員生協と関連会社からあわせて9人が受講しました。日本生協連発行『入門 生協の経理実務～伝票式会計』のテキストに沿って取引や仕訳の仕組みを学習し、決算書類である貸借対照表・損益計算書の作成が出来るようになることが目標です。仕訳を伝票に起票し、演習問題を繰り返し、最終日には田中専務理事から「第13回初級経理学校修了証」が受講者一人ひとりに手渡されました。

受講者からは、「貸借対照表と損益計算書を作成することで、帳票の持つ意味や重要性が理解できました」「基礎を学んだので、実践で更に理解を深めていきたい」などの感想が寄せられ、研修を終えて経理実務の第一歩を刻みました。



全員が課程を修了しました



講師 三宅 充氏



講師 江藤 俊哉氏

保健・医療・福祉研究会 施設見学

社会福祉法人きらくえん あしや喜楽苑



あしや喜楽苑 施設長 小林 浩司氏



LSA 室では緊急通報システムを見学しました



介護相談窓口とサロンスペースを併設した「ケアローソン芦屋新浜町店」

12月1日(金)「保健・医療・福祉研究会」の施設見学研修として、社会福祉法人きらくえん あしや喜楽苑を訪問。福祉事業やLSA(ライフサポートアドバイザー)派遣事業、地域との関わりについて知ることを目的に「保健・医療・福祉研究会」メンバー5人と会員生協から3人、事務局3人の計11人が参加しました。

あしや喜楽苑では、施設長 小林 浩司氏から“ノーマライゼーション”を法人理念とする社会福祉法人きらくえんの取り組みや歴史について、またLSA 地域支え合い相談員 増原 統氏からは、震災復興公営住宅で24時間365日の生活を支援するLSA 派遣事業や地域との接点を増やし地域からの情報を得るケアローソン介護相談窓口の取り組みについてお話いただきました。あしや喜楽苑・LSA 室・きらくえん新浜町介護相談窓口の3か所を活動拠点とし、全ての人が地域の中で一人の生活者としての暮らしを築くことを実現する取り組みを学びました。

兵庫JCC「協同組合研究・交流会」を開催

11月16日(木)、生協・農協・漁協・森林組合から28人が参加し、「コウノトリ育む農法」で注目の豊岡市に行ってきました。最初に訪れたのは、JA たじま本店。統合となった旧県立豊岡南高校の校舎を改修して昨年11月に完成しました。JA たじまが取り組む環境に配慮した農業とブランド化の取り組みについて、友田達也代表理事専務から報告いただきました。その後、一昨年完成した穀類共同乾燥調製貯蔵施設「こうのとりにカントリーエレベーター」(CE)を見学。大、小の貯蔵タンクを併設し、14種類もの米を区分して処理できる施設としては日本初で、4,350tという貯蔵能力は西日本最大級のCEです。コメの品質向上をはかるための火力を使わない「常温除湿乾燥方式」の採用や、生産者の荷受けの待ち時間を短縮し労力の軽減をはかるため、持ち込まれた籾をトラックごと計量できる「トラックスケール方式」を採用する

等、最新の設備に加え、さまざまな配慮がなされた施設でした。

昼食を済ませ、コウノトリの郷公園で100匹以上まで復活したコウノトリを見学した後、中谷農事組合法人^{なかのたに}を訪問。同法人の小島昭則組合長から、地域特性を生かした「コウノトリ育む農法」との関係や、高付加価値化を実現してきた栽培に係る工夫や努力を熱く語っていただきました。

「コウノトリ育む農法」とは、安全でおいしい農産物と多様な生き物を育み、コウノトリが住める豊かな環境、それを維持・継続していく地域や文化をつくる取り組みだと実感した研修会でした。



JA たじま本店



コウノトリ



こうのとりにカントリーエレベーター内部での説明



中谷農事組合法人小島組合長

豊かな海は豊かな森づくりから ～「虹の仲間」で森づくり～

12月2日(土)、兵庫県内の協同組合4団体(生協、JA(農協)、JF(漁協)、Jforest(森林組合))で構成する兵庫県協同組合連絡協議会(兵庫JCC)は、雌岡山(神戸市西区)で開催された「虹の仲間」で森づくりに参加。4団体の組合員や役員と職員、一般参加者あわせて、約180人が森の除伐作業を行いました。この活動はJF兵庫漁連がコープこうべとの共催で実施、「豊かな森が豊かな海を育てます」を合言葉に、豊かな海を次の世代につないでいくため、平成18年から森づくりに取り組んでいます。8～9人のグループに分かれて「ひょうご森の倶楽部」活動リーダーより、栄養たっぷりの水を海に送る(豊かな海)には、森林整備が必要なことを伺いました。また、のこぎりや剪定(せんてい)ばさみを使って約2時間の除伐作業を行うと、地面に太陽の光が届く明るい森になりました。

終了後は、巻き寿司、瀬戸内産のたこを使ったジェノベーゼ・やわらか煮・牡蠣のみそ汁をいただきながら消費者と生産者が交流しました。伐採体験を通して森や海への関心を深めました。



除伐作業

第16回「税務・経理講習会」のご案内

税務改正等についての合同の講習会とコース別の講習で、生協の税務と経理の実務を学びます。

日時：2018年2月20日(火)・21日(水) 9時30分～18時 ※21日は17時まで

会場：兵庫県民会館

受講料：会員生協：無料／関連子会社：お一人 5,000円 ※ただし、昼食代・テキスト代は実費を徴収します。

講師：江藤 俊哉氏 (税理士)、三宅 充氏 (MMコンサルティング代表)、
宮田 正樹氏 (西宮市職員生活協同組合 統括部長)

コース別講習内容：(1) 法人税基礎コース (定員20名)

- ・内容：①税務・経理・財務管理の基本
②簡単な設例に基づく税務申告書の書き方

(2) 法人税申告書作成コース (定員10名)

- ・内容：①設例に基づく税務申告書の作成 (演習含む)
②上級者用設例による解説



昨年の様子 (法人税基礎コース)

参加申し込み・お問い合わせ：兵庫県生協連 TEL. 078-391-8634

平成29年度 NPO 法人 ひょうご消費者ネット シンポジウム

ストップ! ザ 泣き寝入り3 —神戸—

参加
無料

◆日時：2018年1月20日(土) 13時30分～16時30分

◆会場：兵庫県私学会館3階 神戸市中央区北長狭通4丁目3-13

◆内容：〈基調講演〉

講師 兵庫県警サイバー犯罪対策課

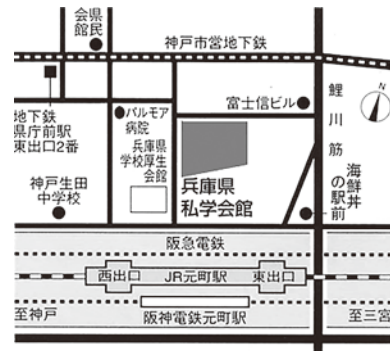
課員による防犯教室「ネット社会の歩き方」
注意すべき最新情報、事例紹介など

◆定員：100名 (当日参加も OK)

◆主催：適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

◆後援：兵庫県、神戸市、兵庫県弁護士会、兵庫県司法書士会、
兵庫県生活協同組合連合会、生活協同組合コープこうべ

◆申込先：ひょうご消費者ネット事務局 (月～金：13時～17時) 電話：078 (361) 7201



自然災害で被災した住まいの再建に備える

小さな負担で
大きな安心!

月換算 500円 (2年目～417円) の掛金で、
最大 600万円の給付



フェニックス
サポーター
はばタン

兵庫県が
実施する

フェニックス共済 (兵庫県住宅再建共済制度)

住宅再建共済制度

年額5,000円で
最大600万円給付!

被害割合 20% (半壊) 以上

一部損壊特約

年額500円で
補修時等に
25万円給付!

被害割合 10%以上20% 未満

家財再建共済制度

単独加入 年額1,500円で
住宅とセット
加入の場合 年額1,000円で
最大50万円給付!

床上浸水・半壊以上

あわせて備えて
もっと安心!

フェニックス
共済

他の共済
地震保険

お問い合わせ・お申し込みは、ホームページ または コールセンターまで!



公益財団法人 兵庫県住宅再建共済基金

フェニックス共済

検索

コールセンター 078-362-9400 (平日 9:00 ~ 17:00) Fax 078-362-4082

JF (一財) 兵庫県水産振興基金

たつの市立室津小学校で 郷土料理給食会

室津で水揚げされる新鮮な魚や地元の野菜を使った「郷土料理給食会」が11月14日(火)、たつの市立室津小学校で開催されました。この給食会はJF 室津やJF 室津女性部(高木 友子部長)、地域の皆さんが町ぐるみで取り組んでおり今年で14回目になります。

地元食材を使ったシーフードカレーを中心とした献立となっており、室津小学校の全児童がJF 室津女性部などの指導により調理を行い、お昼前には同校の体育館にシーフードカレー(シタピラメ、イカ、エビ入り)のほか、骨せんべい、シタピラメの甘辛煮、ほうれん草のごまあえ、卵焼き、酢大根、寒天、地元で伝統の「友君ようかん」など、室津産と郷土料理にこだわった品々が並びました。



保護者、学校関係者、地域の方々、市関係者、幼稚園児たちが集まり、食事を楽しみました。また、給食会では6年生の修学旅行報告会や、同女性部メンバーで構成された魚魚市(とといち)一座による室津の海の環境についての寸劇が行われ大いに盛り上がりました。

室津小学校と同女性部が始めたこの会は、回を重ね、児童だけでなく地域の皆さんにも室津地区の地産地消や文化などを知ってもらえる行事として大きな役割を担っています。今後も地域の方々の協力を得て続けられていくことを期待しています。



JA 全農兵庫

兵庫県産きぬむすめ 主婦向けLINEスタンプでPR

JA 全農兵庫では11月、兵庫県産きぬむすめのキャラクター「きぬこちゃん」を用いて、主婦層にも利用者の多いスマートフォンの通信アプリ「LINE」のスタンプでPRを始めました。主婦が使いやすいよう基本の挨拶や家族で使えるセリフを盛り込み、お米や兵庫県を要素にした遊び心のあるスタンプを24種類作成。デザインやセリフの制作には全農兵庫の女性職員が意見を出し合いました。

きぬむすめは、2011年産から県南部・淡路地区で本格的に作付けが始まり、それに合わせてPRキャラクターの「きぬこちゃん」が誕生しました。頭に米粒型のかぶりものを着け、兵庫県の形をしたクッションを持ち歩き、「JAグループ兵庫のきぬむすめ」をPR。夏の暑さにも負けない元気な女の子をイメージしています。JA 全農兵庫では、きぬこちゃんの着ぐるみやうちわ、シールなどを作成しています。

JA 全農兵庫米麦課は「きぬこちゃんを通じて兵庫のきぬむすめを主婦のみなさんに知ってもらいお米の販売につなげたい。スタンプがみなさんのコミュニケーションに役立てば」としています。

兵庫県産米「きぬむすめ」
きぬこちゃんラインスタンプできました!



きぬこちゃんのLINEスタンプ



消費者トラブル事例集

「ターゲットはあなた！ こんな手口に気をつけて！」 を、お配りしています

兵庫県生活科学総合センターで作成した消費者トラブル事例集「ターゲットはあなた！こんな手口に気をつけて！」は、悪質業者に狙われやすい高齢者の被害を未然に防止するため、特にトラブルの多い事例を4コママンガで紹介するとともに、クーリングオフ制度や「消費者ホットライン『188（いやや）』」の電話操作方法をわかりやすく掲載しています。

事例は、◆ワンクリック請求 ◆メールでの架空請求 ◆「お試し購入」だと思ったら定期購入だった ◆トイレなどの修理サービストラブル、の4つを取り上げています。

事例集の送付を希望される場合は、下記へご連絡下さい。下記のURLからもご覧になれます。
→ <http://www.seiken.server-shared.com/information/oldleaflet>

【連絡先】 〒650-0046 神戸市中央区港島中町4丁目2
兵庫県生活科学総合センター 企画研修課
TEL 078-302-4000 FAX 078-302-4002



事例集 表紙



事例集 P.5

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓

みなさま、新年、明けましておめでとうございます。2018年のはじまりですね。お正月はいかがお過ごしだったでしょうか。私は、無事1年をはじめることができて、ほっとしています。みなさまにとって今年1年が、健康で実りの多い1年になることを祈っております。今年もよろしくお祈りします。

さて、みなさま、キッチンやトイレなどで水漏れが起きた、蛇口が詰まった、そんな時どうされますか？水道工事業者をお願いすることも多いのではないのでしょうか。私自身も自宅のトイレで急に水が漏れてきて、大変焦ってしまった経験があります。そんな風に慌てて、お願いした水道工事業者とトラブルになるケースがあります。たとえば、広告に表示されている金額より、ずいぶん高額だったとか、余分と思われる工事もさせられたなどです。もし、こんなトラブルに遭ってしまったらどうしたらよいかというお話をしたいと思います。水道修理工事をお願いする際は、お電話して現場に来てもらって、見積りの上、修理してもらうことになります。このような契約は、特定商取引法上の訪問販売に該当することになります。ということは、どうということなの？すみません、続きは来月号とさせていただきます。

ではまたお楽しみに。

(ひょうご消費者ネット 理事 司法書士 吉江直記)

連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com



MOVE

防ごう!
消費者被害

2017年度ひょうご消費者セミナー

参加費 無料

お寺に学ぶ 助け合いの地域づくり

消費者トラブル防止には、地域の力は欠かせません。今回の消費者セミナーでは、お寺のお供えものを活用し、見守りを兼ねて困っている人に届ける「おてらおやつクラブ」のお話から、孤立を生まない地域づくりを考えます。また、適格消費者団体を何をしているのか!〇×クイズで学びます。



とき 2018年 **3月6日(火)**
13時30分～15時30分

ところ 兵庫県農業共済会館 7階大会議室
神戸市中央区下山手通4-15-3



講演会 「おてらおやつクラブの活動の現場から
～お寺の社会福祉活動の可能性～」

講師



おてらおやつクラブ事務局長
善福寺 桂 浄薫さん

プロフィール

昭和52年、善福寺に次男として生まれる。
平成27年から善福寺住職。得意のIT技術を活かし、
地域・年齢幅広く仏教を伝える。

フード
ドライブ
同時開催!

未開封、常温保存の食品
賞味期限1ヶ月以上

※フードドライブとは、各家庭で余った食品を持ち寄り、それを必要とする人々にフードバンクなどを通じて寄付する活動です。
当日、お持ちいただいた食品は、フードバンク関西へお渡します。

活動報告 〇×クイズでわかる! 適格消費者団体

参加費

無料

定員

120人(先着順)

締め切り

2月20日(火)

※申し込み受け付けは先着順となります。定員になり次第締め切りとさせていただきます。

保育

無料(1歳半～未就学児) ※保育をご希望の場合は、直接、申し込み先までご連絡ください。

申し込み方法

会員生協・団体名、お名前、電話番号をご記入の上、兵庫県生協連までFAX・電話・メールでお申込みください。

申し込み先

兵庫県生活協同組合連合会

TEL: 078-391-8634 FAX: 078-392-2059 e-mail: hyogo@kobe.coop.or.jp

主催

兵庫県生協連合会・コープこうべ・ひょうご消費者ネット・消費者支援機構関西(KC's)

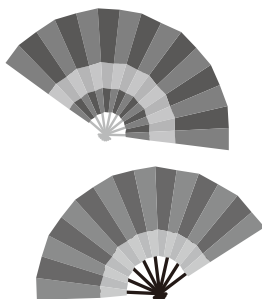
後援

兵庫県・神戸市(予定)

※個人情報はセミナー以外の目的で使用いたしません。

編集後記

新しい年を迎え、みなさまいかがお過ごしでしょうか。
自身を振り返ると昨年は「いろいろありましたがあつという間でした。まるで数分しかたつていないような：はやい」どこかで聞いたことのある(?) テレビコマーシャルのフレーズそのままの一年でした。今年、どのような日を過ごしたかわからないなんてことがないよう昔から伝わる年中行事で、季節を感じながら過ごしてみたいと思っています。
☆2018年が、みなさまにとって良い年になりますよう心よりお祈り申し上げます。
今年も、兵協連と「兵協連だより」をどうぞよろしく願っています。(大戸)



県連日誌

- 1月6日(土) 新春トップセミナー (県民会館 福)
- 1月18日(木) 賀詞交換会 (県民会館 鶴)
- 1月18日(木) 兵協連監事と代表理事懇談会 (県民会館 ばら)
- 1月22日(月) 兵協連ひょうごまるごと健康チャレンジ実行委員会 (県民会館 301)
- 1月25日(木) 兵協連第5回生協活動委員会 (県民会館 ばら)